

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI 達成状況（令和3、4、5年度 実績数値）

基本目標	施策	第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した数値目標及び重要業績評価指標(KPI)	数値目標等の達成状況			第2期計画を終えての総括(成果、課題等)	担当課
			令和3年度 実績数値	令和4年度 実績数値	令和5年度 実績数値		
基本目標1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする		数値目標 ◆本市の有効求人倍率【津島公共職業安定所作成資料】 1.22(R1年度) ⇒ 1.50以上(R5年度)	1.28	1.41	1.11	愛知労働局が公表する安定所別受理地別有効求人倍率の推移では、本市を管轄地域に含む津島区域の有効求人倍率において減少傾向が見られました。県、ハローワークと連携した就職相談や情報提供による啓発活動を強化し、雇用の促進に努めます。	産業振興課
		数値目標 ◆農業の新規担い手を3年間で6人増 (R3年度～R5年度累計)	0人	0人	5人	農地法の改正により農地の取得や貸借が行いやすくなり、農地法に基づく許可による権利取得者が増加しました。 引き続き、県やJAが取り組む支援や相談窓口を有効活用し、担い手を確保するよう努めます。	産業振興課
	(1)農水産業の振興	KPI ◆認定農業者数 87人(R1年度) ⇒ 87人(R5年度)	83人	83人	81人	高齢化や後継者不足により再認定を受けないなどの理由により、農業者が減少しました。県やJAと連携して、補助制度や低金利の融資制度等認定農業者のメリットを周知し、新たな認定農業者の増加に努めます。	産業振興課
		KPI ◆農地所有適格法人化数 13件(R1年度) ⇒ 15件(R5年度)	14件	14件	17件	農地法の改正や他市町村からの経営拡大などの理由により法人が増加しました。県やJAと連携して、補助制度等農地所有適格法人のメリットを周知し、さらなる法人の農業参入に努めます。	産業振興課
	(2)担い手の育成・掘り起こし	KPI ◆新たに雇用を創出する農商工連携又は6次産業化を行う企業・団体数 4件(H27年度～R1年度累計) ⇒ 基準値より増(R5年度)	3件	2件	1件	6次産業化による所得向上や雇用拡大のメリットを活かせるよう、県のサポートセンター等の情報提供や補助金の活用を行い、新たな6次産業への参入に努めます。	産業振興課
	(3)地元中小企業の振興と企業誘致の推進	KPI ◆製造業における事業所数【経済センサス活動調査結果】 162事業所(H28年) ⇒ 164事業所(R5年)	288事業所 (R3確報値)			経済センサス活動調査は、5年ごとに実施されるため令和4、5年度の実績数値はありません。令和3年度経済センサス活動調査結果により、目標値は達成されています。引き続き、中小企業や小規模事業者の資金調達の円滑化のため、県と連携し、市内・近隣の金融機関に原資を預託することで、融資利便性の向上を図ります。また、先端設備等導入計画により、企業の経営強化を図ります。	産業振興課
		KPI ◆全産業における事業所数【経済センサス活動調査結果】 2,026事業所(H28年) ⇒ 2,031事業所(R5年)	2,078事業所 (R3確報値)			経済センサス活動調査は、5年ごとに実施されるため令和4、5年度の実績数値はありません。令和3年度経済センサス活動調査結果により、目標値は達成されています。引き続き、中小企業や小規模事業者の資金調達の円滑化のため、県と連携し、市内・近隣の金融機関に原資を預託することで、融資利便性の向上を図ります。	産業振興課
	(4)就労の拡大	KPI ◆市内事業所就業者数【経済センサス活動調査結果】 21,927人(H28年) ⇒ 21,000人(R5年)	23,250人 (R3確報値)			経済センサス活動調査は、5年ごとに実施されるため令和4、5年度の実績数値はありません。令和3年度経済センサス活動調査結果により、目標値は達成されています。引き続き、ハローワークと連携し、就労希望者を就労援助していきます。	産業振興課
		KPI ◆製造業における従業員数【経済センサス活動調査結果】 5,175人(H28年) ⇒ 5,100人(R5年)	5,521人 (R3確報値)			経済センサス活動調査は、5年ごとに実施されるため令和4、5年度の実績数値はありません。令和3年度経済センサス活動調査結果により、目標値は達成されています。引き続き、ハローワークと連携し、就労希望者を就労援助していきます。	産業振興課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI 達成状況（令和3、4、5年度 実績数値）

基本目標	施策	第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した数値目標及び重要業績評価指標(KPI)	数値目標等の達成状況			第2期計画を終えての総括(成果、課題等)	担当課	
			令和3年度 実績数値	令和4年度 実績数値	令和5年度 実績数値			
基本目標2 つながりを築き、新しいひとの流れをつくる	(1)関係人口の創出・情報発信力の強化	数値目標	◆人口社会増減数 4人(R1年) ⇒ 20人(R5年)	△92人	2人	131人	令和5年度は前年度に比べ大きく値が伸びたものの、その要因として外国人の転入者数が大きなウエイトを占めています。人口減少が続くな、引き続き、関係機関と協力を密にしていくとともに、選ばれるまち、住み続けたいまらとして魅力ある施策、PRを展開していきます。	企画政策課
		KPI	◆市公式X(旧Twitter) 及びYouTubeのフォロワー数 X 1,500人(R1年度) ⇒ 2,000人(R5年度) YouTube 未開設(R1年度) ⇒ 500人(R5年度)	X 1,879人 YouTube 316人	X 2,020人 YouTube 382人	X 2,100人 YouTube 430人	ともに年々フォロワー数は増えているものの、YouTubeは目標が達成できませんでした。その他の発信として、市公式LINEでは新規で320人の登録がありました。より多くの市民に対して市政情報の発信を行うことができるよう各SNSの普及・啓発に努めるとともに、SNSごとの特性を活かした市政情報の発信を積極的に行っていきます。	人事秘書課
	(2)子育て世代や若者の呼び込み	KPI	◆ふるさと納稅数 4件(R1年度) ⇒ 300件(R5年度)	352件	416件	420件	チラシ配布等の広報活動により、納稅件数の目標を達成することができました。寄付金額の増に向け、今後も魅力ある返礼品の開拓を行い、リピーターの確保に向けた取組を進めています。	財政課
		KPI	◆30歳から39歳の社会増減数 △126人(R1年度) ⇒ △20人(R5年度)	△59人	16人	22人	数値目標を達成したものの、その要因として外国人の転入者数が大きなウエイトを占めています。今後は、日本人転出者を抑えるとともに、定住人口の増加に繋がりやすい日本人転入者の確保を図るために、多様な施策の展開が必要となります。	企画政策課
	(3)若い世代の定住、地域との交流促進	KPI	◆市内高校の市イベント(桜まつり、健康フェスタ、盆踊り等)参加者数 279人(R1年度) ⇒ 基準値より10%増(R5年度)	117人	26人	27人	新型コロナウイルス感染症の影響による市主催のイベントの見直し、また社会環境の大きな変化により、学校との関係も変化し、満足のいく交流ができず、目標値を達成することができませんでした。地域コミュニティの活性化のためには、若い世代の協力は不可欠です。交流を深めていくため、さらなる基盤づくりを進めていくことが必要です。	市民協働課
		KPI	◆観光入込客数(市内観光施設等の利用者数) 77万人(R1年度) ⇒ 80万人(R5年度)	58万人	56万人	60万人	新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標は達成できませんでしたが、5類への移行、YaToMi AQUAの開館や金魚すくいイベント等のPR効果により、コロナ前の数値に戻りつつあります。今やYaToMi AQUAは本市が誇る観光施設となりつつあるため、様々なイベントを仕掛け、新規の来館者のみならず、リピーターの獲得に取り組むことが課題です。	観光課
	(4)自然や歴史を活かした観光振興	KPI	◆桜まつり、芝桜まつり、藤まつり入込客数 17,500人(R1年度) ⇒ 17,500人(R5年度)	0人	0人	8,000人(桜まつり)	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度までは3つのまつりが中止となりましたが、代替策として、桜並木のライトアップ、海南こどもの国との共催による夏まつり、秋まつりを開催しました。また、桜まつりについては令和5年度に5年ぶりに実施しました。イベント事業を取り巻く環境や会場周辺の環境の変化を踏まえつつ、初の宵まつりを開催するなど新たなステージに向けて開催方法を模索しました。	観光課
		KPI	◆ガイドボランティア登録者数 33人(R1年度) ⇒ 33人(R5年度)	33人	28人	27人	直近では令和4年度にガイド養成講座を開催しましたが新規会員は1名にとどまり、会員の高齢化や、退会者が数人出了ことから、目標値を下回る結果となりました。引き続き、会員募集のPRやガイド養成講座を行うとともに、ガイドボランティアの重要性をPRしていく必要があります。	歴史民俗資料館

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI 達成状況（令和3、4、5年度 実績数値）

基本目標	施策	第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した数値目標及び重要業績評価指標(KPI)	数値目標等の達成状況			第2期計画を終えての総括(成果、課題等)	担当課
			令和3年度実績数値	令和4年度実績数値	令和5年度実績数値		
基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・妊娠・出産のサポート	数値目標 ◆出生数 328人(R1年) ⇒ 333人(R5年)	324人	333人	286人	目標値を達成することはできませんでした。少子高齢化による減少が想定されることから、子どもを産み育てやすいまち、定住しやすいまちにするため、子育て支援施策のより一層の充実に努めます。	健康推進課
		数値目標 ◆子育て世帯の転入超過数 △19世帯(R1年) ⇒ 5世帯(R5年)	△36世帯	△25世帯	△27世帯	令和3年度から数値の回復が見られたものの、全国的な傾向と同様に未婚化・晩婚化が進んでおり、転入者のうち子育て世帯の占める割合が減少傾向にあることから、目標達成には至りませんでした。数値の上昇には、子育て世代の女性が本市に魅力を感じることが必要であり、様々な方向から支援や施策を展開する必要があります。	企画政策課
		KPI ◆結婚活動相談支援登録者数 31人(R1年度) ⇒ 33人(R5年度)	24人 (R4.3月時点)	20人 (R5.3月時点)	18人 (R6.3月時点)	民間企業が実施するオンラインでの結婚相談などにより、登録者が年々減少し、目標値を達成することができませんでした。PRを強化するとともに、引き続き、社会福祉協議会と連携し、未婚の人が結婚に向かって一步踏み出すきっかけとなるよう支援を行っていく必要があります。	市民協働課
		KPI ◆出会い系事業 2事業(R1年度) ⇒ 1事業(R5年度)	0事業	1事業	1事業	目標値を達成することができましたが、引き続き未婚の男女に出会いの機会を提供し、結婚のきっかけづくりを行うことが必要です。家族・会社でのコミュニケーション不足、地域のつながりの希薄化が進む中、社会全体で結婚を応援するため婚活事業を企画・開催していく必要があります。	市民協働課
		KPI ◆結婚活動相談支援事業を通じた成婚数 4組(H27年度～R1年度累計) ⇒ 2組(R3年度～R5年度累計)	0組 (R3)	0組 (R3～R4累計)	0組 (R3～R5累計)	結婚活動相談登録者が減少していることもあり、相談自体も減少しています。行政が実施する強みである信頼性や低価格を残しつつ、市場の変化に合わせた事業の見直しを行うなど、相談から結婚につながるような切れ目ないサポートを行っていく必要があります。	市民協働課
		KPI ◆合計特殊出生率 1.46(R1年) ⇒ 1.66(R5年)	1.39	1.38	1.37	新型コロナウイルス感染症の影響により、全国及び愛知県において令和元年以降の3か年で0.1ポイントの大幅な減少となった中、本市においては減少幅を低く留めることができました。しかし、出生率の低下とともに出生数も減少していることから、子育て世帯に対する支援策を充実させ市の魅力化を図ることで、出生率の上昇に努める必要があります。	企画政策課
		KPI ◆妊婦基本健診受診率 76.6%(R1年度) ⇒ 85.0%(R5年度)	80.8%	90.4%	82.2%	目標値を達成することはできませんでした。妊娠の経過や出産時期によって受診券の一部が未使用となる場合がありますので、妊婦が適切な時期に必要な検査・健診を受診できるよう、母子手帳交付時に受診券の使用方法を丁寧に説明していきます。	健康推進課
		KPI ◆支援が必要と認められる家庭への訪問件数(養育支援訪問) 2件(R1年度) ⇒ 3件(R5年度)	0件	1件	3件	丁寧に調整を行い、目標値を達成することができました。引き続き、支援が必要な家庭が抱えるリスクやニーズを把握し、養育支援訪問を含め、必要な支援に繋げられるよう努めています。	児童課
		KPI ◆保育所入所待機児童数 0人(R1年度) ⇒ 0人(R5年度)	0人	0人	0人	国の調査基準日である4月1日現在の待機児童は、引き続き0人となりましたが、年度途中に待機児童が発生する場合があるため、状況に応じて保育士の早期確保に努めます。	児童課
		KPI ◆ファミリー・サポート・センター会員数 632人(R1年度) ⇒ 700人(R5年度)	684人	724人	706人	新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたこともあり、会員の更新をされない方が増えたため、令和5年度は会員数が減少しましたが、令和元年度から毎年、会員数は増加しており、令和5年度の目標値を達成することができます。引き続き、活動中の事故防止に取り組むとともに、会員登録出張所やパネル展示等の広報活動を実施し、会員の確保に努めています。	児童課
(3)学校教育・生涯学習の充実	(3)学校教育・生涯学習の充実	KPI ◆将来の夢や目標を持つ児童の割合(小6) 82.6%(R1年度) ⇒ 85.0%(R5年度)	81.9%	77.9%	81.5%	夢や目標を持つ児童の割合は昨年(77.9%)と比較すると増加しましたが、令和5年度の目標である85%は達成できませんでした。複雑な社会情勢である現在、児童の心の悩みを解消する対策がさらに求められるため、引き続き、カウンセラーなど、児童が安心して心の悩みを相談できる体制の整備や拡充を検討していきます。	学校教育課
		KPI ◆将来の夢や目標を持つ生徒の割合(中3) 65.6%(R1年度) ⇒ 70.0%(R5年度)	67.1%	61.5%	66.3%	夢や目標を持つ生徒の割合は昨年(61.5%)と比較すると増加しましたが、令和5年度の目標である70%は達成できませんでした。複雑な社会情勢である現在、児童の心の悩みを解消する対策がさらに求められるため、引き続き、カウンセラーなど、生徒が安心して心の悩みを相談できる体制の整備や拡充を検討していきます。	学校教育課
		KPI ◆生涯学習講座の参加者数 850人(R1年度) ⇒ 850人(R5年度)	252人	443人	828人	目標達成に至らなかったものの、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へ移行し、市民が講座へ参加しやすい状況となつたため、以前に近い参加者数となりました。今後も開催数の拡充や周知の強化を図り、参加者の増加に努めます。	生涯学習課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI 達成状況（令和3、4、5年度 実績数値）

基本目標	施策	第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した数値目標及び重要業績評価指標(KPI)	数値目標等の達成状況			第2期計画を終えての総括(成果、課題等)	担当課
			令和3年度 実績数値	令和4年度 実績数値	令和5年度 実績数値		
(4)仕事と生活の調和の実現	KPI	◆各種スポーツ大会の参加者数 2,347人(R1年度) ⇒ 2,400人(R5年度)	988人	1,941人	1,817人	新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へ移行し、市民がスポーツ大会へ参加しやすい状況となったものの、娯楽の多様化によるスポーツ離れなどにより、目標値の達成に至りませんでした。今後は競技スポーツのみならず、誰でも気軽に「スポーツ」に参加できる環境づくりに努めます。	生涯学習課
	KPI	◆ファミリーフレンドリー企業登録数 8件(R1年度) ⇒ 12件(R5年度)	7件	8件	9件	目標達成に至りませんでしたが、愛知県が策定しているあいちワーク・ライフ・バランス行動計画に基づき、周知を図ったため、登録企業が年々増加しています。周知の強化に努め、企業登録数の向上を目指します。	産業振興課
	KPI	◆ファミリー・サポート・センター会員数【再掲】 632人(R1年度) ⇒ 700人(R5年度)	684人	724人	706人	新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたこともあり、会員の更新をされない方が増えたため、令和5年度は会員数が減少しましたが、令和元年度から毎年、会員数は増加しており、令和5年度の目標値を達成することができました。引き続き、活動中の事故防止に取り組むとともに、会員登録出張所やパネル展示等の広報活動を実施し、会員の確保に努めています。	児童課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI 達成状況（令和3、4、5年度 実績数値）

基本目標	施策	第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した数値目標及び重要業績評価指標(KPI)	数値目標等の達成状況			第2期計画を終えての総括(成果、課題等)	担当課	
			令和3年度実績数値	令和4年度実績数値	令和5年度実績数値			
基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	(1)協働による活力ある地域づくり	数値目標	◆自主防災組織の組織率 89%(R1年度) ⇒ 100%(R5年度)	90%	90%	90%	令和3年度以降、新しく自主防災組織を結成する地域はありませんでした。地域による共助の機運醸成のため、未結成の地域に結成の呼びかけを引き続き行い、組織率を上げる取組を強化していく必要があります。	防災課
		KPI	◆地域づくり補助金を活用した団体数 46団体(R1年度) ⇒ 48団体(R5年度)	26団体	30団体	28団体	新型コロナウイルス感染症の影響の他、会員の高齢化や、会員数の減少で、目標値を達成することはできませんでした。補助金申請等の事務負担や活動情報等の周知方法の課題を少しでも解決できるよう、時代にあつた市民協働の仕組みづくりを進めていく必要があります。	市民協働課
		KPI	◆自治会加入率 90.5%(R1年度) ⇒ 91.0%(R5年度)	88.4%	88.4%	86.4%	高齢夫婦のみ世帯や単身世帯が増え、役員選出に負担感がある等の意見がある中で、市では広報誌を委託業者によるポスティングを導入し、役員の負担軽減に努めました。市として、自治会の必要性などの意識啓発に努め、今後も自治会加入促進に取り組んでいきます。	市民協働課
	(2)災害に備えた対策の推進	KPI	◆消防団員の充足率 87%(R1年度) ⇒ 95%(R5年度)	78%	76%	77%	少子高齢化や被雇用者率の上昇により団員が減少傾向にあります。今後は分団の統廃合や定員数の見直しも検討していく必要があります。	防災課
		KPI	◆企業等との災害時協定の締結数 41件(R1年度) ⇒ 57件(R5年度)	54件	57件	59件	目標値を達成しましたが、引き続き、積極的に企業等との災害時協定の締結を進めます。	防災課
		KPI	◆防災訓練実施件数(自主防災組織) 40区(R1年度) ⇒ 66区(R5年度)	9区	17区	25区	令和5年度に新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へ移行したことでの防災訓練を実施する自主防災組織が増加しましたが、コロナ以前の実施件数には戻りませんでした。防災訓練等の地域活動の再開を図るために、自主防災組織補助金(活動費)の積極的な活用を促しつつ、出前講座の開催等によって地域の防災意識の向上を図ることで、実施件数の回復に繋げていきます。	防災課
		KPI	◆地域防災リーダーの数 76人(R1年度) ⇒ 84人(R5年度)	76人	76人	76人	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で養成講座を開催することができず、令和4、5年度は弥富市から新規の参加者はいませんでした。また、目標達成に向けて、広報誌やホームページ等で積極的に講座開催の周知を行ったものの、目標達成には至りませんでした。新たな周知方法を模索するなど、地域防災リーダーの確保に努めます。	防災課
		KPI	◆防災ボランティアコーディネーター養成人数 118人(R1年度) ⇒ 138人(R5年度)	118人	118人	118人	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で養成講座を開催することができず、令和4年度は弥富市から新規の参加者はいませんでした。(令和5年度は防災ボランティアコーディネーター向けのフォローアップ講座を開催)また、目標達成に向けて、広報誌やホームページ等で積極的に講座開催の周知を行ったものの、目標達成には至りませんでした。新たな周知方法を模索するなど、防災ボランティアコーディネーターの確保に努めます。	防災課
	(3)交通ネットワーク機能の充実	KPI	◆コミュニティバス1便当たり平均乗車人員 9.6人(R1年度) ⇒ 11.3人(R5年度)	6.6人	7.7人	9人	利用者数はコロナ禍の影響により令和3から4年度まで6.6～7.7人と減少していましたが、令和5年度は9.0人と1便当たり平均乗車人員は増えてきています。南部ルートは10.3人で過去10年で最高でしたが、北部と東部ルートはコロナ前よりも減少しているため、継続的に利用促進活動の推進を図ります。	市民協働課
		KPI	◆コミュニティバス利用者満足度 48.9%(R1年度) ⇒ 50.0%(R5年度)	未集計	未集計	未集計	市地域公共交通活性化協議会で、利用者満足度の目標としての妥当性を協議した結果、令和3年3月作成の市地域公共交通計画の目標指標から利用者満足度が削除されました。同計画内で設定したコミュニティバス年間利用者数の数値目標を利用して効果を検証すると、令和5年度は79,237人で、令和4年度の73,828人より年間利用者数が増加しました。しかし、北部と東部ルートはコロナ前よりも減少しているため、さらに、地域特性や利用特性に応じた使いやすい公共交通網の形成を図ります。	市民協働課
	(4)健康づくりの推進と福祉の充実	KPI	◆メタボリック症候群とされた人の割合 男性 37.6%(R1年度) ⇒ 30.2%(R5年度) 女性 14.2%(R1年度) ⇒ 11.4%(R5年度)	男性 39.3% 女性 15.2%	男性 38.2% 女性 15.6%	男性 37.2% 女性 15.1%	男女ともにメタボリック症候群の割合が県平均より高く、目標値を達成することができなかったため、ICTを利用して特定保健指導の参加率を上げるなど取組を行っていきます。	保険年金課
		KPI	◆特定健診受診率 44.9%(R1年度) ⇒ 46.1%(R5年度)	42.9%	46.2%	44.4%	令和4年度からAIを活用した受診勧奨通知の送付を年2回実施したことで、令和4年度の受診率は上昇しましたが、令和5年度は受診率が低下しました。受診者の多い年代が後期高齢者医療保険に移行したことが原因と考えられるので、国民健康保険新規加入者や未受診者の受診勧奨を強化していきます。	保険年金課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI 達成状況（令和3、4、5年度 実績数値）

基本目標	施策	第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した数値目標及び重要業績評価指標(KPI)	数値目標等の達成状況			第2期計画を終えての総括(成果、課題等)	担当課
			令和3年度 実績数値	令和4年度 実績数値	令和5年度 実績数値		
(5)地域経営・広域行政の推進	KPI	◆がん検診受診率(全住民を対象とした割合) 胃・肺・大腸 9.5%(R1年度) ⇒ 10.8%(R5年度) 子宮・乳 9.2%(R1年度) ⇒ 13.3%(R5年度)	胃・肺・大腸 8.7% 子宮・乳 10.05%	胃・肺・大腸 9.4% 子宮・乳 10.1%	胃・肺・大腸 9.2% 子宮・乳 10.1%	目標値を達成することができませんでした。令和5年度は、胃・肺・大腸がん検診において受診者数が減りました。子宮・乳がん検診においては受診者数は増加していますが、受診率でみると横ばいの状態です。今後も引き続きがん検診受診の啓発に努めていくとともに、がん検診精密検査未受診者に対し、精密検査を必ず受けるよう勧奨していきます。	健康推進課
	KPI	◆要介護認定率(認定者数/1号被保険者数) 15.5%(R1年度) ⇒ 17.4%(R5年度)	16.1%	16.6%	16.7%	介護予防事業に積極的に取り組んだことや、介護認定に関する相談に適切な対応ができたことで、令和5年度時点での想定数値よりも要介護認定率を抑制することができました。今後も、地域包括支援センターと連携を強化し、介護予防事業の積極的の参加を促し、要介護者予備軍の介護予防及び早期発見に努めます。	介護高齢課
	KPI	◆ふれあいサロン設置数 26箇所(R1年度) ⇒ 27箇所(R5年度)	25箇所	23箇所	22箇所	ふれあいサロンの新規開設数を廃止数が上回ったことから、設置数を増やすことができませんでした。要因としては、代表者の扱い手不足が考えられます。ふれあいサロンは高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止の目的を持つことから、今後も各サロンの継続実施を呼びかけ、新たなサロンが開設できるよう扱い手の育成に一層努めます。	介護高齢課
(5)地域経営・広域行政の推進	KPI	◆広域連携事業数 28件(R1年度) ⇒ 31件(R5年度)	30件	30件	30件	令和3年度以降、新たな広域連携事業はありませんでした。効果的・効率的な施策の展開を図るため、周辺自治体に限らず、広域での連携を積極的に検討し、複雑化・多様化する市民ニーズに対応できる体制を整えています。	企画政策課
	KPI	◆若手・中堅職員による政策提案件数 2件(R1年度) ⇒ 5件(R3～R5年度累計)	0件 (R3)	0件 (R3～R4)	0件 (R3～R5)	新型コロナウイルス感染症の影響により「若手・中堅職員政策提案プロジェクトチーム」の活動を見送っておりましたが、R5年度は開催手法を改め、若手・中堅職員が各種施策の目的・目標を熟知し、積極的な提案を行うことができる基盤を築くために、総合計画について学び、組織横断的に意見交換を行う勉強会を実施しました。今後は、政策提案能力の向上を図りながら、若手職員の人材育成や行政能力の向上等、若手職員が幅広く職務能力の習得や発揮が行える機会の導入を検討します。	企画政策課